

出

愛

令和5年度 流山市立おおぐろの森中学校
第1学年 学年だより 第3号
令和5年6月1日発行

「自分たちで作らあげる校外学習」スタート!!

いよいよ、6月14日に1学期の大きな学年行事である校外学習を実施します。生徒たちは事前準備に時間をかけ、校外学習に向けて前向きに取り組んでいるところです。目的・方針に沿って様々なことを感じ、学んでほしいと考えています。

- ・任された活動は責任をもって最後までやり遂げること
 - ・仲間の意見を尊重しつつ、話し合いで合意のもと結論を出し、協力して活動すること
 - ・周囲のことを考えた発言・態度を意識し、思いやりのある行動がとれること。さらに仲間との人間関係を深め、互いが認めあえる環境をつくること
 - ・自分たちで決めたことや活動について必ず実行すること
 - ・「教えてもらう」のではなく、自分たちで計画を確認しながら、自主的に前向きな活動ができること
- 以上のことについては、校外学習の様々な活動をとおして、一人ひとりが身に付けてほしいと願っています。自分たちで校外学習を作りあげている意識を高くもち、充実した1日であったと思えるようにしてほしいと思います。

5月10日に行われた校外学習の学年集会で上記のことを伝え、校外学習の活動をスタートさせました。係ごとに会議を行い、スローガンを決め、自分たちの校外学習をつくるために、意見を出し合いました。学級でも、「どんな校外学習にしたいか」や「どんなことが必要か」などについても真剣に話し合っていました。

様々な活動をとおして、互いのことを理解し合いながら、1学年という「集団」で、共に成長できる校外学習を目指して、校外学習当日まで精一杯活動してくれることを願っています。



実行委員で、持ち物や校外におけるマナーについて話し合いました。建設的な意見を出し合う姿に、とても感激しました!

学級スローガンも決めました。自分たちで「こんな校外学習にしたい」と真剣に話し合う姿に、1年生の良さを感じました!

校外学習スローガン

じぶんで考えて行動し、
 おたかひのりかいを深め
 これからの学校生活に つなげよう

事前学習、ものすごく真剣な取り組み!!

校外学習に向けて、事前学習も始まりました。おおぐろの森中学校では、被災(震災、津波、戦争)された人や土地への校外学習を実施し、人の心の痛みを感じ、人を思いやれる心の育成をはかることを目指しています。1学年では、原爆の被害を受けた人に対して共感的理解を目標に、事前学習を行っています。原爆の恐ろしさ、原爆ドームがなぜ世界遺産に登録されているのか、原爆ドームに込められている意味や願いなどを資料や映像を使って学んでいます。また、校外学習当日に訪れる丸木美術館の絵についても調べ、作者がどのような思いを込めて原爆被害の絵を描いたのかについても触れながら学習しています。校外学習に行く前に原爆に対する理解を深め、当日は絵の大きさやタッチなど、実物を見たからこそわかるものを感じ取れる学習になることを願っています。



資料や映像を見る生徒たち。真剣さがものすごく伝わってきます!



丸木美術館にある絵を調べ、作者の想いについてじっくりと考える姿も立派です!



先生も、原爆の被害について、生徒と一緒に考え、勉強しています!

中間テストが終わって、次は期末テスト!!

中間テストが終わり、平均点や順位が記載された「私のあゆみ」を配付しました。中間テストを振り返り、成果と課題を明確にした上で、期末テストに臨みましょう。学習とは自分との戦いであり、他人と比較するものではないので、前回よりもたくさん勉強しようという意欲ある姿勢を身に付けてほしいと思います。苦手なものを克服し、嫌なものから逃げずに立ち向かうことを学べる機会でもあります。「前回よりも頑張れた」と思えるように成長することを期待しています。頑張れ、1年生!